



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 株式会社アルプス技研 上場取引所 東
 コード番号 4641 URL <https://www.alpsgiken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 篤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼経営企画部長 (氏名) 渡邊 信之 (TEL) 042(774)3333
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	34,186	6.5	3,542	0.8	3,597	3.1	2,537	5.7
2022年12月期第3四半期	32,105	13.7	3,514	38.8	3,487	2.6	2,402	5.6

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 2,685百万円(10.8%) 2022年12月期第3四半期 2,424百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	126.94	—
2022年12月期第3四半期	119.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	25,435	15,709	61.6
2022年12月期	24,274	15,741	64.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 15,662百万円 2022年12月期 15,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	38.00	—	47.00	85.00
2023年12月期	—	52.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	43.00	95.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2023年12月期第2四半期の配当の内訳 普通配当42円00銭 創業55周年記念配当 10円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,600	6.8	5,000	7.5	5,060	10.9	3,420	0.1	169.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社(社名) ー、除外 1 社(社名) (株)パナR&D
 (注) 詳細は、添付資料7頁「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	21,746,675株	2022年12月期	21,746,675株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	1,875,372株	2022年12月期	1,600,065株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	19,993,022株	2022年12月期3Q	20,167,480株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想の前提となる条件等については、添付資料2頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により前記予想と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

2023年12月期の個別業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,100	5.0	4,700	5.3	3,200	△5.4	158.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. (参考)	10
(1) 2023年12月期第3四半期の(要約)個別四半期損益計算書	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の抑制や5類感染症への移行もあり、経済活動の持ち直しがみられました。一方、地政学的リスクの顕在化を契機とした物価上昇、世界的な金融引き締めの影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しする可能性があります。また、国内の金融政策の変化にも十分注意する必要があります。

こうした社会・経済環境の中、大手製造業各社は、競争優位に向けた研究開発の先行投資を維持しており、当社グループに対する要請は堅調に推移しております。

当社グループは経営理念「Heart to Heart」のもと、「チームアルプス」というビジョンを掲げ、グループの総力を挙げて新たな事業に挑戦し、最高業績の更新に向けて邁進しております。当社グループの中核である技術者派遣事業では、採用施策を強化し、優秀な技術者の確保に努めました。さらに全社を挙げて、先端技術分野や成長が期待できる環境分野の技術教育を強化し、チーム派遣等の営業施策と連動した取組みを実施しました。以上のような施策の結果、引き続き稼働率は高水準を維持し、契約単価は上昇いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第3四半期連結累計期間の売上高は341億86百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は35億42百万円(同0.8%増)となりました。また、経常利益は35億97百万円(同3.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億37百万円(同5.7%増)となりました。

なお、当社は次世代に向けた強みを創出すべく、アウトソーシングサービス事業の強化はもとより、農業・介護を始めとする新たな事業分野の開拓と、ものづくり事業の拡大に向けた施策を推進しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① アウトソーシングサービス事業

主要事業であるアウトソーシングサービス事業では、技術者派遣を中心に、技術プロジェクトの受託、事務派遣、職業紹介等を行っております。

アウトソーシングサービス事業におきましては、優秀な人材を確保するためリファラル採用などの施策に注力いたしました。また、先端技術分野や成長が期待できる環境分野の技術教育を強化し、チーム派遣等の営業施策と連動した取組みにより、引き続き稼働率は高水準を維持し契約単価も上昇いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は314億38百万円(同6.7%増)、営業利益は30億79百万円(同4.9%減)となりました。

② グローバル事業

グローバル事業では、海外におけるプラント設備、機械・設備機器等の設計・製作・据付及びメンテナンス並びに人材サービスを行っております。

グローバル事業におきましては、昨年から続く一部大型案件の追加受注により、当第3四半期連結累計期間における売上高は27億48百万円(同4.6%増)、営業利益は4億61百万円(同68.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は254億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億60百万円増加いたしました。これは、主に繰延税金資産の増加によるものであります。負債合計は97億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億93百万円増加いたしました。これは、主に賞与引当金の増加によるものであります。この結果、純資産の部は157億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。

これらの結果、自己資本比率は61.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、当社グループに対する足元の派遣要請が引き続き堅調のため、2023年2月9日に公表いたしました連結・個別業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,696,566	11,176,215
受取手形、売掛金及び契約資産	6,622,872	6,481,709
商品及び製品	1,074	1,074
仕掛品	238,003	387,501
原材料及び貯蔵品	57,597	76,489
その他	535,665	722,813
流動資産合計	18,151,780	18,845,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,301,101	3,360,723
減価償却累計額	△1,737,179	△1,854,953
建物及び構築物(純額)	1,563,922	1,505,770
土地	1,527,337	1,541,637
その他	560,786	690,802
減価償却累計額	△473,658	△498,896
その他(純額)	87,127	191,905
有形固定資産合計	3,178,388	3,239,312
無形固定資産		
のれん	243,122	180,113
その他	141,115	133,434
無形固定資産合計	384,237	313,548
投資その他の資産		
投資有価証券	1,049,802	994,689
関係会社株式	32,218	32,218
繰延税金資産	862,242	1,501,872
その他	661,449	507,781
減価償却累計額	△45,592	—
その他(純額)	615,857	507,781
投資その他の資産合計	2,560,120	3,036,561
固定資産合計	6,122,746	6,589,422
資産合計	24,274,526	25,435,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	459,100	376,273
短期借入金	274,391	233,550
未払金	1,978,431	1,451,510
未払法人税等	897,393	1,227,205
賞与引当金	1,704,119	3,564,431
役員賞与引当金	28,497	23,625
その他	2,791,114	2,514,401
流動負債合計	8,133,048	9,390,997
固定負債		
長期借入金	45,276	24,908
繰延税金負債	4,012	4,318
退職給付に係る負債	177,916	162,560
その他	172,331	142,977
固定負債合計	399,535	334,765
負債合計	8,532,583	9,725,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,347,163	2,347,163
資本剰余金	2,784,651	2,798,742
利益剰余金	11,973,136	12,530,825
自己株式	△1,987,433	△2,739,120
株主資本合計	15,117,517	14,937,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385,442	460,950
為替換算調整勘定	184,722	263,670
その他の包括利益累計額合計	570,165	724,621
非支配株主持分	54,259	47,231
純資産合計	15,741,943	15,709,463
負債純資産合計	24,274,526	25,435,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,105,070	34,186,961
売上原価	24,539,922	26,253,119
売上総利益	7,565,148	7,933,842
販売費及び一般管理費	4,050,950	4,391,435
営業利益	3,514,197	3,542,406
営業外収益		
受取利息	5,133	6,518
受取配当金	20,822	16,137
助成金収入	130,509	12,786
為替差益	—	24,014
その他	66,241	85,140
営業外収益合計	222,706	144,597
営業外費用		
支払利息	2,179	833
寄付金	200,000	61,531
為替差損	16,933	—
その他	30,262	27,277
営業外費用合計	249,375	89,642
経常利益	3,487,528	3,597,360
特別利益		
固定資産売却益	101	364
投資有価証券売却益	—	257,611
寄付金収入	300,000	—
特別利益合計	300,101	257,975
特別損失		
固定資産除却損	8	30
減損損失	128,330	—
特別損失合計	128,338	30
税金等調整前四半期純利益	3,659,291	3,855,305
法人税、住民税及び事業税	1,970,798	1,947,260
法人税等調整額	△710,147	△625,059
法人税等合計	1,260,651	1,322,201
四半期純利益	2,398,639	2,533,103
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,376	△4,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,402,016	2,537,910

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,398,639	2,533,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88,425	75,507
為替換算調整勘定	113,873	76,726
その他の包括利益合計	25,447	152,234
四半期包括利益	2,424,087	2,685,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,428,912	2,692,366
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,825	△7,027

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月11日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、2023年5月15日に普通株式281,100株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が751,686千円増加しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった㈱パナR&Dの受託部門につき、当社の連結子会社である㈱デジタル・スパイスを承継会社とする吸収分割を行いました。また、㈱パナR&Dの受託部門以外につき、当社を存続会社とする吸収合併を行いました。これにより、㈱パナR&Dを連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(取得による企業結合)

当社は2023年9月7日開催の取締役会において、㈱たんぼぼ四季の森の全株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 ㈱たんぼぼ四季の森

事業の内容 サービス付き高齢者住宅事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業

(2) 企業結合を行う主な理由

当社は、1968年の創業以来、経営理念「Heart to Heart」のもと、技術力と人間力を兼ね備えた技術者を育成し、高度な技術サービスを提供することで、日本のものづくりの発展を支えてまいりました。その後、2021年に、㈱アルプスケアハートを設立し、介護人材の不足という社会的課題を抱える介護分野の事業拡大を進めております。今回、新たに当社グループとなる㈱たんぼぼ四季の森は、㈱坂本企画より吸収分割を経て2023年11月1日に設立されました。事業内容はサービス付き高齢者住宅事業を中心に、居宅介護支援事業、訪問介護事業を営んでおります。

今後は、㈱アルプスケアハートとのシナジーを強化しノウハウを結集することで、多様な高齢者向けサービスの提供を実現し、当社グループの企業価値を高めてまいります。

(3) 企業結合日

2024年1月4日(予定)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

現時点では確定しておりません。

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	29,478,225	2,626,845	32,105,070
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24,679	24,679
計	29,478,225	2,651,524	32,129,749
セグメント利益	3,237,841	274,351	3,512,193

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,512,193
セグメント間取引消去	2,003
四半期連結損益計算書の営業利益	3,514,197

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アウトソーシング サービス事業	グローバル事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	31,438,895	2,748,066	34,186,961
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	38,815	38,815
計	31,438,895	2,786,881	34,225,777
セグメント利益	3,079,301	461,214	3,540,516

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,540,516
セグメント間取引消去	1,890
四半期連結損益計算書の営業利益	3,542,406

3. (参考)

(1) 2023年12月期第3四半期の(要約)個別四半期損益計算書

科目	前第3四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
I 売上高	24,719,911	26,710,618
II 売上原価	18,426,495	20,089,688
売上総利益	6,293,415	6,620,930
III 販売費及び一般管理費	3,120,629	3,376,174
営業利益	3,172,786	3,244,755
IV 営業外収益	498,611	459,543
V 営業外費用	242,917	137,123
経常利益	3,428,480	3,567,176
VI 特別利益	300,101	288,116
VII 特別損失	2,790	30
税引前四半期純利益	3,725,791	3,855,261
法人税、住民税及び事業税	1,740,273	1,741,916
法人税等調整額	△632,942	△550,402
四半期純利益	2,618,460	2,663,747

- (注) 1. 四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象とはなりません。
2. 四半期損益計算書は、「四半期財務諸表等規則」に従い作成し、要約した上で記載しております。